学校番号	413

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合(現代文)	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「国語総合　現代文編」（東京書籍）						
副教材等	「新国語総合ガイド 五訂版」（京都書房） 「新国語ガイド準拠学習課題ノート 五訂版」（京都書房） 「頻出 入試漢字コア 2800」（桐原書店）「高校国語入門 標準」（第一学習社） 「基本の現代文　大学入学共通テスト対策版」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な現代文を読むことを通して、考える力・表現する力をつけることができます。そのための基礎としての語彙や漢字は繰り返し学習し自分のものとしましょう。さらに自ら進んで、様々な文章に親しむようにして下さい。自分の考えを文字で表現し、客観的に見る態度を培って参りましょう。

2　学習の到達目標

・表現内容の構成、主題、心理などを適切に理解し、また想像することが出来る。
・表現内容について自分の考えを深めたり発展させたりしていくことができる。
・日常の様々な場面を通して、互いを尊重し、意思を伝え合い理解を深めることができる。
・目的や課題に応じて、収集した情報を分析、整理して、自分の考えを効果的に表現できる。
・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	日本語で読み、聞き、話し、書くことを通じて、互いに伝え合い、考え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語を尊重し、その向上に努めようとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、異なる意見を受け止めながら自分の意見を深め、まとめて発言している。	目的や場、相手や課題に応じて、様々な観点から考え、思考を深め、より伝わりやすい形で書いている。	幅広く深い話題・論題の様々な文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	古語、漢語など伝統的な言語文化に加え、外来語、専門用語などに対する理解を深め、語彙等を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認および分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認および分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論一	教材:「水の東西」	○		○	◎	○	a:「鹿おどし」と「噴水」の違いに注意し、考えを深めようとしている。 c:「鹿おどし」と「噴水」の違いを整理し、筆者の考える日本人の感性についてまとめられる。 d:キーセンテンスに注目し、本文を理解し、考えを深めている。 e:作者特有の用語を理解するとともに、自らの語彙を豊かにしている。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
	小説一	教材:「羅生門」	○			◎	○	a:時代背景を確かめながら、本文を通読できる。 d:場面の変化に基づいて全体を部分に分け、それぞれの場面での下人の行動と心理の移り変わりを整理できる。 e:作者及び関連する文学史上の知識を身につけている。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
	表現活動	教材: 「調査して発表する」	○	○	○		○	a:テーマを見つけ、主題文を書くことに関心を持っている。調査・情報収集をすることに関心を持っている。 ｂ：調査・情報収集のメモをもとに発表することができる。 c:主題文を作成することができる。調査・情報収集のメモを作成することができる。 e:テーマの立て方や主題文の書き方を理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
二学期	随想	教材:「少女たちの『ひろしま』」	○		○	◎		a:教材の内容に関心を持っている。 c:筆者の考え方を論旨の展開に沿ってまとめることができる. ｄ：本文を理解し、考えを深めている。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d)
	小説二	教材: 「城の崎にて」	○	○		◎	○	a:教材の内容・作者に関心を持っている。 b:「私」の心情の変化を簡潔に説明することができる。 d:場面ごとに「私」の心境の変化を読み取り、整理することができ、自分なりの考えをまとめられる。 e:作者について理解している。細部が丹念に語られることによって生み出される効果を理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
	詩歌	教材:「汚れちまつた悲しみに」等	○	○		◎	○	a:言葉の美しさに関心を持っている。 b:声に出して読み、言葉の持つ美しさを確認する。 d:作者の思いを的確に読み取っている。 e:詩の修辞技巧の効果について理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
	現代文 評論二	教材: 「＜顔＞という現象」	○		○	◎	○	a:教材の内容に関心を持っている。 c:日常生活の中で「＜顔＞」をどのように自覚しているか、まとめることができる。 d:「記号」としての「＜顔＞」とはどのようなものか理解している。 e:「＜顔＞」という現象を理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)

三学期	小説三	教材:「富嶽百景」	○	○		◎	○	a:場面の情景や登場人物の変化に留意して読もうとしている。 b:本文で「富士」が果たしている役割について話し合える。 d:場面の情景や登場人物の変化に留意して、読み味わっている。 e:小説に使われる比喩表現や情景描写、また慣用句の使い方を理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)
	評論四	教材: 「＜私＞時代のデモクラシー」	○			○	○	a：「＜私＞」が尊重される現代社会におけるデモクラシーが抱える課題を理解しようとしている。 d：「＜私＞時代」における＜私たち＞の形成について、筆者の考えを読み取ることができる。 e：「＜私＞時代のデモクラシー」の特徴と課題を理解している。	行動の観察と確認(a) 記述の確認及び定期考査(d、e)

4　学習の活動

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。